

駅北まちづくり活動支援事業（上里町）

【目的】

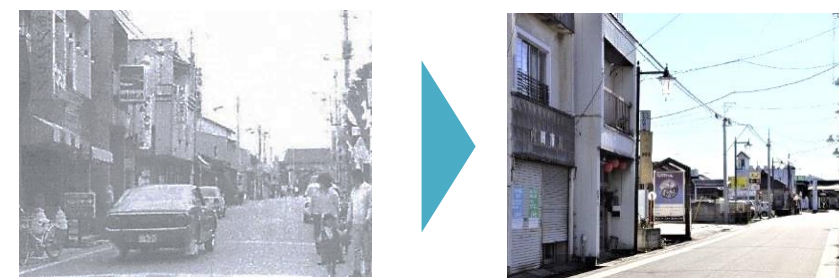
かつて賑わいのある町の中心市街地であった神保原駅北口周辺は、商店が減少し、賑わいがなくなっている。町主催の駅北を周遊する年2回のマーケットは毎回1,500人程度の来場があるが、その日限りの賑わいとなっている。一過性の賑わいではない日常的な賑わいの創出を図るため、官民連携でイベントの企画から実行までを体験できる場をつくる社会実験を行う。

【概要】

- ・空き家を活用したチャレンジショップ
- ・空き家、空き地でイベントを行うための空間づくりを検討するワークショップ
- ・ワークショップで検討した内容を実際に空き家、空き地に配置し、民間主催のイベントの実践

【背景・現状】

失われる商店街



令和5年3月 駅北まちづくり基本計画策定

【町民を交えたまちづく会議】

- ・神保原駅北まちづくり協議会
- ・ローカル会議（区長・地権者等）
- ・まちなか再生ワークショップ
（マーケット出店者、商工会、公募等）

日常的な賑わいに移行するための社会実験を行う

空き家・空き地を活用した魅力的な空間づくり



民間主催による賑わいイベントの開催



神保原駅北未来ビジョンの策定

持続可能な日常の賑わい



要望額：320万円（総事業費：484万円） 補助率：2/3